

## ■平成27年度第2回中仙地域協議会会議録

1 日 時 平成27年6月19日（金曜日）午後2時から午後3時

2 会 場 中仙庁舎 2階 第21会議室

### 3 出席委員等

#### (1) 委員（敬称略）

##### ①出席委員（11人）

遠藤まき、草薙幸隆、児玉誠良、高橋一、柴田真希亜、高橋泉、高橋成悦、玉井勝壽、傳農富士夫、松塚勝男、柳田トシ

##### ②欠席委員（7人）

秋山康、金子美喜男、熊谷亮、佐々木亨、佐々木正一、高橋久逸、寺田文夫

#### (2) 市職員（7人）

高橋利省中仙支所長、伊藤政子市民サービス課長、佐藤吉一農林建設課長、草薙栄良中仙公民館長、戸堀市民サービス課主幹、山信田恭弘（事務局）、進藤哲規（事務局）

### 4 地域協議会内容

#### 【開会】

開会を宣言（事務局）

#### 【会長あいさつ】

最近の天気を見ておりますと、降るようで降らないというような状況が続いております。屋外で行われる催事については良いのですが、農作物にはどうかという感がする最近でございます。皆様におかれましても、健康に十分留意されますようお願いしたいと思っております。今、司会のほうからもお話がありましたけども、今日は公私共に忙しい中、協議会に出席いただきまして厚く御礼を申し上げます。

今年度2回目の協議会でございますが、今日は消防関係、そしてまた公共交通関係、さらには皆さんに事前に資料を送付してございますが中仙地域の振興計画といった、盛りだくさんの協議・報告がございます。

どうか皆さんには忌憚のないご意見をいただきまして、いくらかでも市の発展のために尽力いたしたいと思っております。

委員の皆さんは18名となっておりますが、前回は12名出席でした。今回も事務局より12名出席と伺っておりますが、遅れている方もおられます。しかし、委員の皆さんにはそれぞれの団体、地域から選ばれた委員でございますので、その責任を感じて会議に出席いただくようお願い申し上げます。委員におかれましては、一回も出席されていない方が3名ほどおられるようでございます。そういうことでは協議会が成り立っていきませんので、くどいようでございますが、この後も皆さんからご協力をお願いいたします。開会にあたり一言ごあいさつ申し上げます。よろしく願いいたします。

#### 【支所長あいさつ】

本日はご多用の中、ご出席いただきまして本当にありがとうございます。ただいまの傳

農会長のごあいさつにもありましたとおり、春から晴天が続きまして、既に真夏日も何回か記録されております。ただ、この後まもなく東北地方も梅雨入りするとみられますので、一転して大雨による被害のないように願っております。

それではこれまでの中仙地域の主な動きなどについて説明させていただきます。

まず、前回、第1回地域協議会で地域予算としてご承認いただきました「ジャンボウさぎお披露目事業」ですけれども、こちらは桜まつりの開催にあわせて実施しております。

また、「コミュニティづくりレクリエーション開催支援事業」ですけれども、6月7日に豊川地区大運動会と豊岡地区住民運動会、6月14日には長野地区レクリエーションスポーツ祭と鶯野地区住民体育祭がそれぞれ開催されております。鍵見内地区大運動会と清水地区住民体育祭については明後日6月21日に実施予定となっております。

次に、自治会連合会におきまして5月25日、28日、29日の3日間にわたりまして公民館分館ごとに6箇所で開催しております。地域活性化にむけた試みとしまして地区分会という形で開催したわけですけれども、合わせて60名のご出席をいただき各地区とも活発な意見がでております。地区ごとで少人数の集まりということから、出席者からも「話しやすくてよい」という意見を多数いただきました。この後、各地区から2名ずつ、計12名の理事を選出いただきまして、10月頃に全大会で役員改選、研修会等を予定しているところでございます。

その他の事業をいたしましては、4月26日から5月6日まで「なかせん桜まつり」を開催しております。今年は開花が早かったわけですけれども、計画していたイベントなどの関係から祭りの期間を変更せず、ライトアップを開花に合わせて4月19日から行っております。八乙女公園の入り込み客数ですけれども、3100人あまりということで昨年度の約半数程度となっております。

次に今後のご案内ですが、市議会の行政懇談会が6月24日、来週水曜日の午後2時から隣の環境改善センターで開催されます。委員の皆さんからもぜひご出席いただければとおもいます。また、消防安全大会は6月28日日曜日午前9時から支所前の駐車場とドンパン広場で開催されます。また、ドンパンふるさと中仙会の総会は、7月12日日曜日、東京品川のグランドプリンスホテル新高輪で開催となっております。総会には支所からも関係職員が出席の予定でございます。

最後にこの後の会議で消防団の再編、あるいは地域公共交通に係る意見書の提出についての説明をさせていただきます。委員の皆様には今後ともご指導・ご助言をいただきますようお願い申しましてあいさつとさせていただきます。

## 【説明】

説明について、事務局で進行。

### (1) 大仙市消防団再編について

・市民サービス課（伊藤課長説明）

（中仙支団再編案）

- ・ 条例定数 258人→202人（改正後）充足率94%へ ※実員数190人
- ・ 組織体制 「5分団－11部－31班」→「5分団－8部－16班」へ
- ・ 資機材の配備計画
  - 消防用小型動力ポンプは21台に集約（積載車搭載分含み、班に1台ずつ、予備5台）
  - 管轄区域の拡大に伴い、積載車は班に1台、計16台（新規配備要望5台）

事務局　ただいま市民サービス課より説明がありました。皆さんからご質問等ございましたか。

松塚勝男委員　充足率94%にという説明がありましたが、団員になるのに年齢制限などはあるのでしょうか。

市民サービス課長　上限が70歳となっています。

児玉誠良委員　団員の年齢資格は満18歳から70歳までとなっております。

松塚勝男委員　団員不足といわれていますが、私たちのような常時家にいる、いわゆる予備の人がいるわけです。ですが、近くでなにかあった時、ただ見ているだけです。このような人たちも消防活動に関する補助的なお手伝いができるものでしょうか。かえって邪魔になるのかもしれませんが、そのようにして活動ができる人はけっこういるとおもいます。その人たちをある程度ピックアップしたり募集したりしてお手伝い願えないものでしょうか。災害時には必ずしも団員でなくてもそのような形でできないでしょうか。

市民サービス課長　個人的な意見かもしれませんが、消防団の役割とは別に、家にいる人たちがお手伝いするというのは、できれば自主防災組織の活動としてバケツリレーなり、消火器の使用なりの活動をしていただければと思います。消防団活動の場合は、団員でない方が勝手にホースを使うということはできませんので、役割分担というものを見極めたうえで災害時にご協力願えればと思います。

松塚勝男委員　自主防災の活動となると自分の町内のみとなるのではないですか。

市民サービス課長　確かに自主防災組織は町内ごとに届出がされていますが、隣部落でなにかあった際に、手伝いにいかれないということはありません。

松塚勝男委員　そのような内容であると私たちは理解できていないのです。

市民サービス課長　確かに自主防災組織は町内ごとに作っていただいておりますけれども、大きく考えれば「中仙地域の自主防災組織」ということだと思います。できれば町内ごとの活動から、6つの地区分館単位の活動、さらには中仙地域の活動というように広げていければなど思っています。

消防団そのものの立場というのは、団員の方々は日々の訓練をしたうえで活動しているので、地域の方々に手伝っていただけるのはうれしいですけれども、担っている役割が違うのかなと思います。ですが、団員でないからといって災害時になにもしないで見ているというわけにはいかないと思いますので自主防災組織の活動の中で動いてもらえればなど思います。

傳農会長　条例定数の202人に対して現在190人ですが、不足の10人程は公募する予定なのでしょうか。

市民サービス課長　普段から消防団員の方々をとおして声かけをしてもらっています。ところが、色々な事情で入る人よりも辞めていく人のほうが増えております。中々、新規

に消防団員になってくださる方はいません。やはり勤め人、サラリーマンの団員の方が増えてきていて、仕事中に火事だとなっても仕事を辞めてまでというわけにもいかないので、実際に活動ができないという理由で辞めていく人が多いです。

遠藤まき委員　　そうすれば現在の190人の中には勤めている方はいないのですか。

市民サービス課長　　勤めている人もいます。いますけれども仕事の関係で中々集まりにも行かれないし、毎年決まっている大会にすらこれないので申し訳なくてということで辞められる方がいます。団員でいてほしいのですが、いわゆる幽霊団員、名ばかり団員だと本人が都合悪いということで辞めていってしまいます。

傳農会長　　本人が良くても職場の理解がなければいけないでしょうから。それともう一つ、部ごとの班の人数が20人だったり5人だったりするのはなぜでしょうか。

市民サービス課長　　それを今回統一するというで見直しして同程度の人数となるようにする予定です。

高橋一委員　　人数のバランスはとれたということでしょうか。

市民サービス課長　　最低限の「分団は30人以上で班は5人以上」ということにはなりません。

遠藤まき委員　　班ごとの人数調整をしたり、班編成を見直したりして必要な人数を確保したということですか。

市民サービス課長　　そのとおりです。

児玉誠良委員　　午前中に大仙市消防団の訓練に行ってきました。市としては充足率を90%以上にしようということで活動しております。現在の258名という定数は平成6年に定められております。その前は300名を越えていました。

見直しでは5名以下の班をなくすために班の統合も行います。統合した班では、たとえば3つの班が統合した場合は1人が班長、次の方が班長代理、次の方が副班長となり、班長が3人いるという形になります。中仙地域については、平成6年より5分団制となり、長野地区が1分団、鶯野地区が2分団、清水地区が3分団、豊川地区が4分団、豊岡地区が5分団となっておりますが、今回の大会もそうですが、起立訓練を行った場合、最低限21名の隊員が必要となります。現在、1, 2, 3分団は個別のチームが作れますが、4分団5分団については人数が少ないということで合併して出場しております。今回見直しが行われますと、人数も増えますが、行動範囲も広がりますので、どうしても積載車が必要となってきます。ですので新たに積載車を要望し、各班に1台の積載車となる予定です。

また、私たち団員は公務扱いとなります。したがって火災が起きた場合、事故あるいは消火活動中に怪我をしたとなると補償があります。地域の方々が手伝っていただけるのは大変けっこうですが、公務災害の扱いにはなりません。

事務局　　他にございませんでしょうか。(なし)  
なければ次の説明をさせていただきます。

## (2) 大仙市地域公共交通に係る意見書の提出について

- ・市民サービス課（戸堀主幹説明）

事務局 ただいま市民サービス課より説明がありました。皆さんからご質問等ございませんか。（なし）

## 【会議録署名委員の指名】

運営規程第7条第2項により、傳農会長が遠藤まき、玉井勝壽両委員を指名。

## 【議題】

議題について、進行を傳農会長が務める。

## (1) 中仙地域振興計画（案）について

- ・地域活性化推進室（山信田副主幹説明）

傳農会長 事務局から説明がありましたが、この案件については平成26年第5回の地域協議会でご承認いただいたものでございまして、それに若干手を加えたもののようにございます。どうか目標指標に向かって実現できるようにご努力をお願いしたいと思います。

ご意見ございませんか。（なし）

では承認することといたします。ありがとうございました。

## (2) 地域枠予算について

- ・地域活性化推進室（山信田副主幹説明）

## ○実施類型 I 型

## 1. 中仙地域観光PR推進事業

事業目的 中仙地域の認知度向上と誘客を図るため、地域に伝わる文化財や伝統芸能、イベント、物産など、中仙地域を市外にPRし、地域の観光振興及び活性化を推進する。

事業概要 ポスター・チラシ・パンフレット等の作成

事業費 992,520円（消耗品費・印刷製本費）

## 2. 中仙地域観光案内看板修繕事業

事業目的 水神社・国宝線刻千手観音等鏡像案内看板及び円満造生家案内看板について、平成2年度に設置され経年劣化による損傷が進んでいることから、修繕によりイメージアップを図る。

事業概要 案内看板の修繕

事業費 133,920円（修繕料）

## 3. 豊川小学校相撲場土俵表面補修事業

事業目的 子供たちが体力づくりと伝統的スポーツを体験することを目的に中仙町時代から継承している「わんぱく相撲大会」の開催に併せ、劣化

している土俵を修繕し、練習環境を整えるとともにスムーズな大会運営を図る。

事業概要 相撲場土俵の修繕  
事業費 74,520円(修繕料)

#### ○実施類型Ⅱ型

##### 1. 呑川環境整備支援事業

事業目的 呑川は、栄町から新町までの約160戸の防火、農業用水、及び流雪溝などの生活用水として活用されている。管理組合が実施する呑川と流域の環境整備事業において、必要な重機等の借上げに係る経費について支援する。

事業概要 水路環境整備(堰払い及び草刈等)  
申請額 90,800円(賃借料)

##### 2. 児童書道作品表層体験教室開催支援事業

事業目的 中仙地域内の小学6年生を対象に、児童の書道作品を裏打ち表装し、記念として永く保存するとともに、書道や水墨画等への愛着と理解を深める。

事業概要 表装体験教室の開催  
申請額 273,976円(消耗品費)

傳農会長 皆さんからのご意見を賜りたいと思います。

はじめに1つ目の中仙地域観光PR推進事業について、皆さんからご意見・ご質問を賜ります。992,520円の申請です。いかがでしょうか。(異議なし)

ありがとうございました。

参考までに手ぬぐいは1枚いくらですか。

事務局 1枚あたり200円になります。

傳農会長 次に2つ目の中仙地域観光案内看板修繕事業、133,920円の申請ですがいかがですか。(異議なし)

ありがとうございました。

看板に中仙町と書かれていますが、これはそのままですか。

事務局 大仙市に変更いたします。現在の看板は平成2年に作られたものですので中仙町と書かれていて継続して使用してきましたが、この部分を含めて版面を取り替えるということで予定しております。

傳農会長 ありがとうございました。3つ目の豊川小学校相撲場土俵表面補修事業です。今回、豊川小学校が会場となるようですが、いかがでしょうか。(異議なし)

ありがとうございました。

傳農会長 次に呑川環境整備支援事業、90,800円の申請ですがいかがですか。(異議なし)

ありがとうございました。

傳農会長 最後ですが、児童書道作品表装体験教室開催支援事業、毎年の継続事業で  
が273,976円です。旧町内の学校83名です。いかがですか。(異議なし)  
ありがとうございました。

傳農会長 これで今日の案件はすべて原案どおり承認されました。ありがとうございました。  
した。

その他について、委員の皆さんからなにかございせんか。(なし)

県のほうで県民会館を建設するということで市民から意見を聞く場を設けるというこ  
とを聞いていますが、こちらにはなにか話があるのでしょうか。

支所長 今のところまだ支所のほうにも公民館のほうにもそういった話はきていない  
ようです。

傳農会長 先日、芸文協の総会に行ったところ、県の担当者がきて説明しました。各市  
町村から意見を聞くということでしたが、まだきていないようです。

委員のほうからなにかありませんか。(なし)

市のほうからなにかありませんか。(なし)

今日は全案件ご承認いただきましてありがとうございました。これで閉会いたします。  
ありがとうございました。

平成27年6月19日

会議録署名委員

委員

玉井 勝尚 

委員

遠藤 手子 